

令和3年度 自己評価および学校関係者評価書

令和4年3月23日  
函館市立旭岡中学校

1 本年度の重点教育目標

自ら考え、判断し、表現できる生徒の育成

2 本年度の取組の重点

- |                       |                   |
|-----------------------|-------------------|
| ① 創意・工夫された教育課程の編成実施   | ⑤ 課程・地域との連携・協働    |
| ② 生徒の実態及び地域性を生かした教育計画 | ⑥ 教育環境の整備         |
| ③ 学びの基礎を担保する教師力向上     | ⑦ サービス規律・接遇マナーの徹底 |
| ④ 報告・連絡・相談・確認と危機管理の徹底 |                   |

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価結果		学校関係者評価		
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善の方策の評価	主な意見（改善策など）
の推進 ① 確かな学力を育む教育	基礎的・基本的知識及び技能の定着を目指して、指導方法の工夫に努めている。	a	外部スタッフを活用した T・T や習熟度別指導を行い、基礎・基本の定着を図った。	A	A	
	教科等の各領域を相互に連携させて適切に実施している。	a	教科等横断的な視点による教育活動を推進した。	A	A	
	年間指導計画の評価と指導の一体化に努めている。	b	新学習指導要領に基づく評価の研修を計画的に実施する。	A	A	「評価と指導の一体化」は重要ですが、評価に関わる研修を深化させることでさらに生徒の確かな力を伸ばさせる指導に結びつけることができると思います。
育の推進 ② 豊かな心を育む教育	全体計画に基づき、学校生活全般を通じて道徳的実践力が育成される指導の充実に努めている。	a	道徳教育推進コーディネーターを中心に授業や行事等を通して心の豊かさを育んだ。	A	A	
	年間計画に基づき教材研究を進めて、考え議論する授業にできた。	b	ICT の効果的な活用等、教材研究を工夫する。	A	B	ICT の活用がうまくいけば子どもたちにとって有益となるが、どう活用していくのか難しい部分があるかと思えます。
	問題行動(いじめ等)の予防と早期発見に努め、適切に対応している。	a	全職員が危機意識をもって、未然防止に努めた。	A	A	
む教育の推進 ③ 健全な体を育む教育	保健指導・保健教育が計画的に行われている。	b	新たに加わった「がん教育」の指導充実に図る。	A	B	
	全教職員による給食指導は適切である。	a	複数教員による安全で衛生的な給食指導を行った。	A	A	食に関する指導の充実も合わせて期待しております。
	生徒指導関係(避難訓練・交通安全教室・非行防止教室等)の計画・実施は十分行われている。	a	積極的な外部機関との連携により、時間・内容ともに適切な指導を実施した。	A	A	
体制等の充実 ④ 学校における指導	学校教育目標の具現化を図る手立てを立て教育活動を進めている。	a	各種通信や集会の中で具現化を意識した取組を推進した。	A	A	
	学校における業務改善に取り組んでいる。	a	業務の効率化による教育の質の向上に全校で取り組んだ。	A	A	
	協働意欲をもって職務の遂行に必要な報告・連絡・相談・確認に努めている。	a	組織的・機動的な対応を徹底し、課題の即日解決を目指す校内体制づくりに努めた。	A	A	
した教育活動の充実 ⑤ 家庭・地域と連携・協働	生徒や地域の課題・教育課題を踏まえた学校教育目標(重点教育目標)である。	a	小・養護学校や学校運営協議会と連携し、改善を進めることができた。	A	A	お便りなどで目標に基づいた様子を知ることが出来た。
	生徒・保護者・地域から理解と協力を得られるよう啓発活動に努めている。	a	日頃から学校・学級通信、学校ホームページ等を活用して積極的に情報発信を行った。	A	A	ホームページ、楽しく拝見しています。
	学校運営協議会の取組を行い、学校・地域と連携した学校運営を推進している。	a	コロナ禍による制限の中、可能な範囲での活動実施、連携に努めた。	A	A	寒中見舞いを HP に載せて下さり、クラブの保護者も活動に関心をもってくれました。

■ 自己評価達成状況

a	ほぼ達成できた (8割以上)
b	概ね達成できた (6割以上)
c	十分ではない (4割以上)
d	達成できなかった (4割未満)

■ 自己評価の適切さ及び改善の方策の適切さにかかる評価

A	自己評価及び改善策は適切であり、取組を進めるべきである。
B	自己評価及び改善策は適切であるが、若干の修正は必要である。
C	自己評価及び改善策の方向性はよいが、若干の修正が必要である。
D	自己評価及び改善策を再度検討する必要がある。